

目 次

まえがき

第1章 宇宙とミクロの世界

大宇宙の丸天井の下で	11
星の音楽	17
銀河系の離散	23
超宇宙——現代物理学の第3の世界——	29
素粒子の世界の普通のことから	37
素粒子の世界の異常なこと	43
反粒子	54
反世界は存在するか	64

第2章 対称性の偉大さ

軸と秩序との世界	73
リズム——時間の対称性——	78
例は理想的だろうか?	80
糸のもつれがほどけるとき	84
3本手の世界は存在するか?	89

第3章 ひとつの法則の崩壊

偶数か奇数か?	97
タウ・シータのなぞ	104
カリフォルニアの休暇	108
最初の思いつき	111

貴重な考え	114
未知の発見への道	119
おこなわれたことのない実験	122
“法則の破滅に対するノーベル賞”	130

第4章 原物質を求めて

2093番講堂において	135
ある空想の歴史	140
〈おぼけ粒子〉は存在するか	148
はじめての試み	152
原物質の5つの性質	156
探求はつづけられる	160
ゲッチングゲン大学教授の思想	167
ライブチッチからキエフへ	173

第5章 重力のなぞ

新しいビール	179
〈反重力〉についての空想	182
小さな速度の世界	190
空間と時間との統一	194
等価原理はなにを物語るか	200
空間=時間の曲がり	203
なぞは残されている	212
むすび	216

解 説	219
索 引	233